

緊急情報カード

わたしは主治医より処方された
インスリンポンプという
医療機器を装着しています。

Medtronic

緊急連絡先

主治医：

電話番号：

緊急連絡先：

電話番号：

私は糖尿病です。

異常行動が見られる場合、または意識がない場合は、重症低血糖である可能性があります。





医療機関に連絡をしてください。

意識があり飲み込むことができる状態であれば、砂糖を含むもの（ジュース、キャンディーなど）を摂取させてください。

意識がない場合は、食べ物や飲み物を摂取させないでください。

医療従事者のみなさま

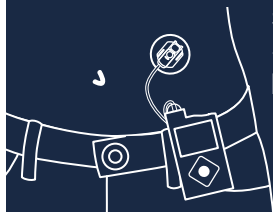
私はインスリンポンプを装着しています。

- インスリンポンプは超速効型インスリンを常に注入し続けています。
- インスリン注入をとめるための操作：
 - いずれかのボタンを押してポンプを起動させてください。
 - メニューボタン  を押してください。
 - 画面表示のハイライトされたボタンを押して、ロックを解除してください。
 - 「注入一時停止」を選択してください（決定ボタン  を押す）
 - 右ボタン  を押し、「はい」を選択してください。
 - 決定ボタン  を押すとインスリン注入が停止されます
- ポンプの乾電池を外さないでください。
- 医療判断なく、ポンプを取り外さないでください。
- ポンプのアラームが鳴動している場合は、日本メドトロニック24時間サポートラインにお電話ください。

日本メドトロニック24時間サポートライン
0120-56-32-56

エアポート情報

わたしは主治医より処方された
インスリンポンプという
医療機器を装着しています。



Medtronic

空港保安検査の注意点

- インスリンポンプは機内持ち込みや受託手荷物検査などのX線検査に通してはいけません。
- ボディスキャナーもX線検査の一種です。検査の前にインスリンポンプを取り外す必要があります。持続グルコースモニタ (CGM) を使用している場合は、検査の前にセンサとトランスミッタを取り外してください。
- ボディスキャナー検査を受ける前に、注入セットは体側の接続部で取り外しておく必要があります。
- デバイス (インスリンポンプなど) の取り外しを回避するには、X線を使用しない代替検査を要求する必要があります。
- インスリンポンプ、注入セット、リザーバおよびCGMシステムは、空港保安検査で使用される金属探知機への暴露に耐えることができます。

患者情報

名前：

住所：

電話番号：

医療機器情報

医療機器種別：

シリアル番号：